

⑧ 瀬戸内の暮らしとSDGs コース

ねらい：大崎ノ鼻周辺の自然散策や、瀬戸内海歴史民俗資料館の資料見学を通して、高度経済成長期（1955年頃～1973年）前後の香川県の暮らしの変化に気づき、これからの自然との付き合い方を考えることができる。

活動内容：大崎ノ鼻から大崎展望台まで約1.5kmの山道を約2時間歩き、道中にある植物の種類や形状から昔の人々の暮らしのようすを推測します。午後の約2時間半は、瀬戸内海歴史民俗資料館内で資料見学を通し、人々の生活の変化や、環境問題について考えます。



瀬戸内海歴史民俗資料館

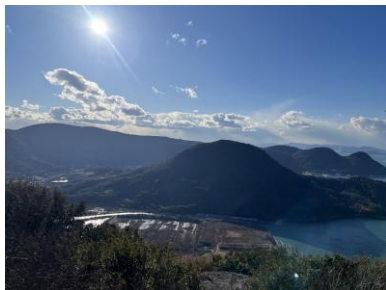


人々の生活はどのように変化したのか？
これから、自然とどのように関わっていくべきか？

五色台展望台



変な形のウバメガシ・・・
木の形から何が分かる？



五色台展望広場

香川県の産業を支えたものとは？



ここには1種類の植物しか生えていない
なぜ？



なぜ柱のような形の岩石が
並んでいるのだろうか？

階段登る

Start



香川県の自然にはどのような特徴があるのだろうか？